



茨城県庁(左)と茨城県議会議事堂(右)。今回の参考人招致は、議
会閉会中に行われた。

茨城県議会環境商工委員会で

TKC全国会創業・経営革新支援委員会を取り組みを発表

とき…平成22年7月29日(木)
ところ…茨城県議会環境商工委員会室

赤岩茂TKC全国会創業・経営革
新支援(創経)委員長、増山英和

TKC関東信越会創経委員長、坂東

祐治茨城支部創経委員長が、茨城

県議会環境商工委員会に参考人と

して招かれた。「中小企業の経営

革新の促進」のテーマで開催され

たこの参考人意見聴取において、

三委員は、TKC全国会の取り組

みを説明した。

中小企業発展のため

先進的な取り組み事例を意見聴取

茨城県議会環境商工委員会は、消費者行政・環境保全などの生活や環境に関連する行政の推進や、商工業振興・中小企業の育成・雇用の確保などの商工労働に関連する事柄について調査・審査を行う委員会。本会議に提出された議案

等をより専門的に審査する常任委員会の一つで、一〇名の委員で構成されている。

今年の重点審査テーマは「中小企業の経営革新の促進」で、資金繰りの確保や成長分野への進出、販路拡大等、中小企業の経営革新を促進するための支援策について調査活動が開始されているという。

今回の参考人招致はその調査活動の一環。中小企業支援において実績のある専門家や経営革新承認を受けた地元中小企業が、参考人

として先進的な取り組み状況等について意見を述べた。

TKC会計人の活動に「ぜひ連携を」との声も

当日は、まず赤岩会員が「TKC全国会のすべて」を用いてTKC全国会と創経委員会の役割や取り組みについて解説。

次いで、坂東会員がその具体的事例として「TKC経営革新セミナー」の概要や開催実績(昨年は茨城県内四〇会員事務所で開催、参加者六六五名)、地域の中小企業支援機関との連携事例(経営者塾、創業支援セミナー等)を紹介した。その後、増山会員が各セミナーで使用する『経営革新塾テキスト』『後継者塾テキスト』『創業塾テキスト』の「経営革新テキスト三部作」の内容を解説。SWOT分析をはじめとした企業経営に必

要な考え方を示すと、深くうなずく委員の姿が見られた。



最後に赤岩会員が「中小企業の経営は社長によってがらりと変わる。経営革新は心の革新。成功事例を示せば社長は『やる気』を持って経営革新に臨むようになる。また、これを推進するには、支援者の情熱も必要」と語り意見陳述は終了した。

その後行われた質疑応答では「ぜひ、TKC全国会との連携を」との意見も聞かれ、地域におけるTKC会計人の役割をアピールする機会となった。

(TKC出版 篠原いづみ)